



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東大

上場会社名 ユニチカ株式会社

コード番号 3103 URL <http://www.unitika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安江 健治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 石川 省二

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	76,152	△12.5	2,317	△52.6	487	△81.2	△931	—
24年3月期第2四半期	87,075	△2.5	4,888	8.2	2,594	15.7	1,039	△9.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △625百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 1,351百万円 (24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△1.62	—
24年3月期第2四半期	1.95	1.84

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	271,672	31,533	10.3
24年3月期	268,486	32,207	10.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 28,067百万円 24年3月期 28,511百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	△8.4	6,000	△37.4	3,000	△47.9	700	△46.1	1.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	577,523,433 株	24年3月期	572,960,324 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	762,227 株	24年3月期	570,138 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	576,153,196 株	24年3月期2Q	531,994,768 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9
4. 補足資料 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として一部に持ち直しの動きがみられたものの、欧州を中心とした世界経済の減速や長引く円高などの影響から輸出環境は改善せず、また消費税増税を見越した生活防衛意識の高まりなどから個人消費は力強さに欠けるなど、厳しい状況で推移しました。さらに、領有権問題を端緒とする外交問題が相手国との貿易などに重大な影響を及ぼす可能性もあり、先行きには不透明感が一層高まっています。

このような状況の下、当社グループは、本年度からスタートした中期経営3カ年計画『Change & Challenge '14』に掲げる施策に基づき、高分子事業を中心とする機能資材メーカーとしての基盤強化や低採算事業の収益改善のための各施策の実行に努めてまいりましたが、想定以上に景気減速の影響を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は76,152百万円(前年同四半期比12.5%減)、営業利益は2,317百万円(同52.6%減)、経常利益は487百万円(同81.2%減)、繰延税金資産を取崩し税金費用が増加したため四半期純損失は931百万円(前年同四半期は1,039百万円の利益)となりました。

なお、中間配当につきましては、引き続き見送ることとさせていただきますので、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### 【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は、インドネシア子会社のナイロンフィルム新鋭3号機の来夏稼働に向けた商圏拡大のための販売強化を図るなど生産・販売体制の構築は計画どおり進捗していますが、国内の在庫調整局面からの回復は緩やかで販売数量は伸び悩み、収益は減少しました。工業分野は、情報端末機器の需要が回復基調となるなど堅調な用途もありましたが、全体では在庫調整により販売数量は伸び悩み、収益は減少しました。この結果、事業全体では減収減益となりました。樹脂事業では、ナイロンは、主要な用途の一つである自動車用途が堅調で収益は伸長しました。ポリエステルは、電気・電子機器の接着剤用途で伸び悩みました。また、当社独自のポリアリレート樹脂「Uポリマー」は、電気・電子機器用途、事務機器用途が低調に推移しました。このほか、環境配慮型の水性エマルジョン「アローベース」は新規用途への展開が進みました。この結果、事業全体では減収減益となりました。不織布事業では、ポリエステルスパンボンドは、復興需要から土木用途が伸長し、自動車などのカーペット用途が復調してきましたが、一般資材用途などが低調に推移し、輸出が伸び悩んだため、収益は減少しました。綿スパンレースは、ウェットシート用途で在庫調整により販売数量が減少し、衛生材料用途などの拡販を図りましたが、収益は減少しました。この結果、事業全体では減収減益となりました。バイオマスプラスチック「テラマック」は、フィルム、樹脂、不織布、繊維の各事業で積極的に展開しています。一部顧客で販売数量が減少した用途もありますが、電気・電子機器用途、自動車用途は回復基調にあり、販売数量は伸長しました。

以上の結果、高分子事業の売上高は30,575百万円(前年同四半期比13.6%減)、営業利益は3,442百万円(同30.3%減)となりました。

#### 【機能材事業】

ガラス繊維事業では、産業資材分野のビル・土木改修用途は堅調に推移しましたが、電子材料分野のICクロスなどは苦戦し、事業全体では収益は減少しました。ガラスビーズ事業では、反射材用途は新規需要の取り込みにより販売数量を回復させましたが、工業用途は前年同期と同程度の販売数量に止まり、ロードマーキング用途は高付加価値品の需要が低調に推移したため、収益は減少しました。また、活性炭繊維は、水栓内蔵型などの浄水器用途は堅調でしたが、電気・電子分野での廃液処理用途などが在庫調整により需要が減少し、低調に推移しました。

以上の結果、機能材事業の売上高は7,026百万円(同9.4%減)、営業利益は469百万円(同42.3%減)となりました。

#### 【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸は、主力の建築・土木分野で低調に推移し、ポリエステル短繊維は、円高を背景に輸入品との価格競争にさらされるなど採算面で苦戦し、収益は減少しました。ビニロン繊維は、アスベスト代替のセメント補強用途で海外での拡販に努めましたが、主要な販売先である欧州市況の低迷、また新興国市場の新規開拓では円高を背景に他国の廉価品との価格競争にさらされるなど採算面で苦戦し、収益改善には至りませんでした。衣料繊維事業では、ユニフォーム分野は、好調な需要に支えられて堅調に推移し、スポーツ分野やレディス分野では、機能素材の拡充及び事業の選択と集中により収益は改善しました。一方、海外など一部の子会社では、市況の影響を受けるなど収益の回復が遅れました。

以上の結果、繊維事業の売上高は32,897百万円(同13.6%減)、営業損失は348百万円(前年同四半期は386百万円の利益)となりました。

### 【その他】

生活健康事業では、飼料原料は猛暑の影響により受注が低迷しましたが、食品原料はアラビノースの好調な販売に加えてラクトビオン酸の新規販売もあり回復基調となり、収益は伸長しました。メディカル事業では、医用材料分野は、循環系カテーテルや排液系カテーテルなどが概ね堅調に推移しましたが、生化学分野は、酵素が欧米向けの輸出が減少し、診断薬は一部顧客の受注が減少し、収益は減少しました。また、マンション販売など不動産関連事業は、計画どおり進捗しました。

以上の結果、その他の売上高は5,652百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は198百万円（前年同四半期は56百万円の損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ3,186百万円増加し、271,672百万円となりました。これは、主として現金及び預金が増加したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ3,860百万円増加し、240,139百万円となりました。これは、主として借入金が増加したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ674百万円減少し、31,533百万円となりました。これは、主として利益剰余金が減少したことによります。

また、キャッシュ・フローの状況については次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益に減価償却費を加えたキャッシュ・イン・フロー、売上債権及びたな卸資産の減少等により、5,234百万円の資金の増加（前年同四半期は274百万円の資金の減少）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴い2,689百万円を支出したことなどにより、1,734百万円の資金の減少（前年同四半期は5,418百万円の資金の減少）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加により、6,770百万円の資金の増加（前年同四半期比28.2%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10,262百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には25,601百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月31日に公表しました「業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,361	25,626
受取手形及び売掛金	39,884	35,053
たな卸資産	47,797	46,441
その他	5,600	5,172
貸倒引当金	△217	△199
流動資産合計	108,425	112,093
固定資産		
有形固定資産		
土地	104,766	104,286
その他(純額)	48,378	48,585
有形固定資産合計	153,145	152,872
無形固定資産		
のれん	21	17
その他	751	809
無形固定資産合計	773	826
投資その他の資産		
その他	6,657	6,400
貸倒引当金	△515	△519
投資その他の資産合計	6,141	5,880
固定資産合計	160,060	159,578
資産合計	268,486	271,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,191	20,617
短期借入金	69,993	67,894
1年内返済予定の長期借入金	34,613	35,669
未払法人税等	515	279
賞与引当金	1,848	1,599
工事損失引当金	23	—
事業構造改善引当金	142	78
その他	11,693	12,684
流動負債合計	144,022	138,825
固定負債		
長期借入金	68,601	76,513
退職給付引当金	7,189	7,560
役員退職慰労引当金	58	53
その他	16,405	17,186
固定負債合計	92,255	101,313
負債合計	236,278	240,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,298	26,298
資本剰余金	4,161	4,385
利益剰余金	△646	△1,573
自己株式	△55	△43
株主資本合計	29,757	29,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	13
繰延ヘッジ損益	4	△13
土地再評価差額金	2,764	2,760
為替換算調整勘定	△4,041	△3,758
その他の包括利益累計額合計	△1,245	△998
少数株主持分	3,696	3,466
純資産合計	32,207	31,533
負債純資産合計	268,486	271,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	87,075	76,152
売上原価	70,126	61,980
売上総利益	16,948	14,171
販売費及び一般管理費	12,060	11,853
営業利益	4,888	2,317
営業外収益		
受取利息	70	67
受取配当金	66	57
その他	586	450
営業外収益合計	723	575
営業外費用		
支払利息	1,636	1,538
持分法による投資損失	157	31
その他	1,222	834
営業外費用合計	3,016	2,405
経常利益	2,594	487
特別利益		
固定資産売却益	16	590
負ののれん発生益	—	48
特別利益合計	16	638
特別損失		
固定資産処分損	299	241
投資有価証券評価損	8	180
退職給付制度終了損	291	—
その他	644	226
特別損失合計	1,244	648
税金等調整前四半期純利益	1,366	478
法人税、住民税及び事業税	227	218
法人税等調整額	88	1,196
法人税等合計	315	1,415
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,050	△936
少数株主利益又は少数株主損失(△)	11	△5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,039	△931



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,050	△936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△13
繰延ヘッジ損益	△49	△20
為替換算調整勘定	389	351
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△6
その他の包括利益合計	300	311
四半期包括利益	1,351	△625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,300	△679
少数株主に係る四半期包括利益	50	54

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,366	478
減価償却費	2,789	2,721
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21	△10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	683	374
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△348	△63
その他の引当金の増減額 (△は減少)	395	△277
支払利息	1,636	1,538
固定資産売却損益 (△は益)	△16	△590
固定資産処分損益 (△は益)	299	241
投資有価証券評価損益 (△は益)	8	180
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,247	4,800
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,269	1,354
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,238	△4,587
その他	1,445	831
小計	1,484	6,992
利息及び配当金の受取額	150	124
利息の支払額	△1,684	△1,496
法人税等の支払額	△225	△386
営業活動によるキャッシュ・フロー	△274	5,234
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△2	△2
投資有価証券の取得による支出	△32	△11
投資有価証券の売却による収入	7	139
有形固定資産の取得による支出	△5,279	△2,689
有形固定資産の売却による収入	35	910
その他	△148	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,418	△1,734
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,468	△1,988
長期借入れによる収入	27,580	25,842
長期借入金の返済による支出	△20,460	△16,881
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	5,000	—
その他	△217	△202
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,433	6,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,813	10,262
現金及び現金同等物の期首残高	16,589	15,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,403	25,601

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,397	7,754	38,067	81,219	5,855	87,075	—	87,075
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	23	104	134	986	1,120	△1,120	—
計	35,403	7,778	38,172	81,354	6,842	88,196	△1,120	87,075
セグメント利益又は損失 (△)	4,939	814	386	6,140	△56	6,084	△1,195	4,888

(注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,195百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,575	7,026	32,897	70,499	5,652	76,152	—	76,152
セグメント間の内部売上 高又は振替高	11	27	125	164	1,188	1,352	△1,352	—
計	30,586	7,054	33,023	70,664	6,840	77,504	△1,352	76,152
セグメント利益又は損失 (△)	3,442	469	△348	3,563	198	3,761	△1,443	2,317

(注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,443百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足資料

①業績及び25年3月期業績予想（連結）

（百万円）

			売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連 結	23/3	年 間	180,706	10,513	6,119	2,444
	24/3	第2Q	87,075	4,888	2,594	1,039
		年 間	174,662	9,579	5,753	1,297
	25/3	第2Q	76,152	2,317	487	△ 931
		年間(予想)	160,000	6,000	3,000	700
前年比較		第2Q	△ 10,923	△ 2,570	△ 2,106	△ 1,970
		年間(予想)	△ 14,662	△ 3,579	△ 2,753	△ 597

②セグメント情報（連結）

（百万円）

			高分子	機能材	織 維	その他	消去・全社	連 結
前年実績	23/9	外部売上高	35,397	7,754	38,067	5,855	—	87,075
		構成比(%)	40.7	8.9	43.7	6.7	—	100.0
		営業利益	4,939	814	386	△ 56	△ 1,195	4,888
		構成比(%)	101.0	16.7	7.9	△ 1.1	△ 24.4	100.0
	24/3	外部売上高	67,294	15,020	76,701	15,646	—	174,662
		構成比(%)	38.5	8.6	43.9	9.0	—	100.0
		営業利益	9,615	1,731	744	751	△ 3,263	9,579
		構成比(%)	100.4	18.1	7.8	7.8	△ 34.1	100.0
当期実績	24/9 (実績)	外部売上高	30,575	7,026	32,897	5,652	—	76,152
		構成比(%)	40.1	9.2	43.2	7.4	—	100.0
		営業利益	3,442	469	△ 348	198	△ 1,443	2,317
		構成比(%)	148.6	20.2	△ 15.0	8.5	△ 62.3	100.0
	25/3 (予想)	外部売上高	62,000	14,000	68,500	15,500	—	160,000
		構成比(%)	38.8	8.8	42.8	9.7	—	100.0
		営業利益	7,700	1,300	△ 200	900	△ 3,700	6,000
		構成比(%)	128.3	21.7	△ 3.3	15.0	△ 61.7	100.0
前年比較	24/9 (実績)	外部売上高	△ 4,821	△ 728	△ 5,170	△ 203	—	△ 10,923
		増減率(%)	△ 13.6	△ 9.4	△ 13.6	△ 3.5	—	△ 12.5
		営業利益	△ 1,497	△ 344	△ 735	254	△ 247	△ 2,570
		増減率(%)	△ 30.3	△ 42.3	—	—	20.7	△ 52.6
	25/3 (予想)	外部売上高	△ 5,294	△ 1,020	△ 8,201	△ 146	—	△ 14,662
		増減率(%)	△ 7.9	△ 6.8	△ 10.7	△ 0.9	—	△ 8.4
		営業利益	△ 1,915	△ 431	△ 944	149	△ 437	△ 3,579
		増減率(%)	△ 19.9	△ 24.9	—	19.8	13.4	△ 37.4

③設備投資実施額・減価償却費（有形固定資産）・研究開発費・有利子負債・金融収支・正従業員数（連結）

（百万円、人）

		設備投資 実施額	減 価 償却費	研 究 開発費	有利子 負債(期末)	金 融 収 支	正従業員数 (人)
23/3	年 間	4,437	6,106	3,615	182,550	△ 3,261	4,845
23/9	第2Q	5,627	2,706	1,886	187,329	△ 1,499	4,748
24/3	年 間	8,105	5,730	4,012	173,208	△ 3,006	4,745
24/9	第2Q	2,977	2,625	2,228	180,078	△ 1,413	4,797
25/3	年間(予想)	7,330	5,577				

④キャッシュ・フロー（連結）

（百万円）

		営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 期 末 残 高
23/3	年 間	10,416	△ 2,959	△ 10,844	16,589
23/9	第2Q	△ 274	△ 5,418	9,433	20,403
24/3	年 間	10,798	△ 7,449	△ 4,393	15,339
24/9	第2Q	5,234	△ 1,734	6,770	25,601